

令和3年度葛飾区行政評価委員会 議事要旨

会議名	葛飾区行政評価委員会 第1回全体会
開催日時	令和3年7月1日(木) 午後1時30分から3時20分まで
開催場所	葛飾区役所新館5階 庁議室
出席者	【委員16人】 大石会長、小松原委員、鈴木委員、大山委員、折登委員、 安達委員、村上委員、大畑委員、岡村委員、香月委員、上村委員、 谷本委員、町田委員、水寄委員、河村委員、堀委員 【区側6人】 区長、事務局(政策経営部長(欠)、経営改革担当課長、事務局職員4人)

会議概要

1 開会

2 委員委嘱

(区長より各委員に葛飾区行政評価委員会委員を委嘱)

3 区長挨拶(要旨)

葛飾区行政評価委員会は平成14年度に開始し、今年度で20年目を迎える。これまで、多くの委員の方々から意見をいただき、事務事業の改善につなげ、区政運営に活かしてきた。いただいた意見をそのまま区政に即反映することが難しいものもありますが、区政を行うなかで参考となることが多々ある。今回についても、委員の皆様は区民の代表として、行政評価にそれぞれの思いをぶつけていただきたい。

新型コロナウイルス感染症が1年半に渡り蔓延していることは、大きな行政課題であり、葛飾区においても今年の年明け辺りから、高齢者施設でクラスターが発生している。こうした状況を改善していくためにも、ワクチン接種が非常に大切だと考えている。多くの区民がワクチンを接種できるよう、かかりつけ医などでの個別接種、健康プラザや地区センターなどでの集団接種をすでに実施しているが、今後、奥戸総合スポーツセンターでの大規模な集団接種も実施していく予定である。

また、直近の3年間をかけて30年ぶりに区の基本構想を改定した。その根本

となる理念については、様々な方々が集う「多様性」、経済・社会・環境の全ての面の「持続的な発展」、そして、葛飾区を住みよいまちとするために、個人・団体・企業・行政とが連携して取り組む「協働」である。葛飾区行政評価委員会も協働の一つであると言える。

葛飾区の行政サービスを取り巻く社会状況が変わり、今後人口減少が発生するといわれている状況だが、葛飾区内の人口が減少していくことがないよう、区としても行政運営を考えていくとともに、この葛飾区行政評価委員会を通し、様々な幅広いご意見も施策に反映したいと考えているため、活発な議論をお願いしたい。

4 要綱説明

事務局より葛飾区行政評価委員会設置要綱について説明

5 会長挨拶

6 委員紹介

会長より委員の名前、選出区分、所属分科会の紹介
政策経営部長挨拶（経営改革担当課長代理挨拶）
事務局職員紹介

7 行政評価委員会の運営方法について

会議の公開
会議の記録の公開
委員の名簿の公開
今後の日程について

8 行政評価委員会の概要について

事務局及び大石会長より行政評価委員会の概要について説明及び質疑応答

A 委員：資料4－⑥「葛飾区基本計画における施策体系」に関して、政策や施策はどういった経緯で決められたのか。

事務局：葛飾区で総合的な事業計画である基本計画があり、それを受けての実施計画となる。その中で、このような体系を作り、各事務事業を割り振っている。計画の策定にあたっては、区民の皆様や議会からもご意見をいただき、それを踏まえて職員が原案を作る流れとなる。

B 委員：今回対象となる事業の費用は今回教えてもらえるのか。

事務局：本日配付する評価表にコストの記載はあるが、詳細なご説明は次回の分科会でさせていただきます。

C 委員：事務事業はどのくらいの数があるのか。

事務局：令和3年度は、923の予定である。

B 委員：今回評価する事務事業は、今度策定する基本計画に沿っているのか。

事務局：行政評価は決算ベースとなり、令和2年度の決算となるため、改定前の基本計画に沿っている。

9 分科会別打ち合わせ

(分科会ごとに分かれて、自己紹介と日程の確認)

10 その他

(事務局より事務連絡)

11 閉会